1. 移転に伴う搬送課題とエアシューターの導入

■標準タイプステーション



■壁埋め込みタイプステーション



■操作盤（タブレット）



特 徴

- ●高速搬送（4~6m/秒）
- ●視認性に優れ、操作のしやすいタブレット型操作パネル
- ●IDタグ付き気送子の採用により簡単送信操作、履歴管理が可能
- ●自動扉開閉と扱いやすい操作位置で負担軽減
- ●到着順に整列ストック（3本まで）
- ●搬送物に優しいソフト受信



エアシューター

平均搬送時間
2 分14秒

最短/最長：133~139秒
誤差はわずか6秒

集計期間　　：2026年10月1日～10月28日
総搬送件数　　：600件
1 日平均搬送件数：21.4件

ヒトが全力疾走した場合

総搬送時間
5 分以上

片道では1分55秒
最低でも 5 分間は救命センターを空けてしまう

4.まとめ

迅速な結果報告で救急診療の意思決定を支える

【検査部の取り組み】
エアシューターによる検体搬送、初検値の速報、POCT機器の精度管理を通じて、必要な検査情報を必要なタイミングで届ける

目指すのは、単なるTAT短縮ではなく、
救急医療の迅速な意思決定への貢献